協調會ニュース

東京本部

社會政策研究會

二月二十四日本會々議室に於て開催、金井陸調査官美濃口時次郎氏より「戰時に於ける勞働力需給統制」に就き特に職業大職の英・獨を中心とした勞力配分問題を詳細に研究發表されたのであが、我國現下の情勢に即し神髓するところ頗る大であつた。出席者十四名。

第四十六回産業厚生研究會

二月二十一日正午より協調會館講堂にて開催、出席者約八十名、産業勞働者の結核問題に就て塚田厚生技師の講演あり、後採用時及定期の健康診斷及結核患者の取扱方法等に關し協議をなし午後四時散會した。

第二回全國工場講演會指導者講習會

二月二十二日より四日間東京市芝區女子會館講堂に於て開催、地方官廳及全國工場鎮山等より講習員約二百名參集帝生協調會勞務理事の「挨拶」、協會指導者に希ひ「安積厚生省勞務課長、「國民の體育問題」に就て厚生省醫務課長、「工場體育の實際的要目」大西厚生技師、「體育指導に就て清水厚生省社會保險局長、「體力向上と國家管理問題」中川保險協會技師、「健康の原理と體育」岩原女部省體育課長、「背壯年に適當したる健康體操」鄭口東京高師教授等の講演あり又赤間協調會嘱託、河田東京工場協會勞務技師、加藤體操學校教授より夫々實地指導を行ひ、映畫座談會等もあつて盛會に終了した。

勞務管理研究會第二回例會

二月二十二日午後一時半東京市巢鴨町國民精神總動員會

東京市巢鴨町大字巢鴨字西原一番地
電話巢鴨（九四〇）番
振替口座東京五三七〇番

協調會

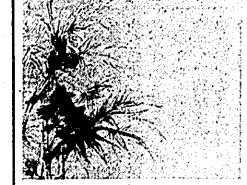
昭和十三年十月十五日　第三種郵便物認可

傷痍軍人を迎ふるに當りて

常務理事　長岡保太郎

惟ふに今次の支那事變は、名は單なる事變であるが、實際は其の動員兵馬の多數なる點に於て、我が國運を賭したる彼の日露戰役にも匹敵する程の大戰爭である。而も作戰行動に至りては滿蒙、北支及び中支の廣大なる地域に及び、其の規模頗る雄大なるのみならず戰鬪の近代化によつて飛行機、戰車、其他の最新科學兵器を多數使用し、之に伴ふ物資の需要莫大の最に上り、國民生活に及ぼせる影響亦曾て見ざる深刻性を示して居る。更に、事變そのものは益々長期戰の傾向を帶び、當面即急の解決を至難とするばかりでなく、事變を繞りて國際關係の複雜微妙なる事態を惹起するやも測られぬ不安狀態に在る。斯様な非常時局下に於て、眞によく國家の進路を愆ることなく、事變終局の成果を完ふするためには、飽迄銃後一體、官民間に些も間然する所なき協同一致の實が發揮せられねばならぬ。

之がためには今次事變の有する意義を明確にし、其の正しき目的成果に關して國民の認識、信念を透徹確固のものたらしむる必要がある。當面の重大問題たる傷痍軍人も作戰行動に至りては蒙疆、北支及び中支の廣大なる地域に及び、其の規模頗る雄大なるのみならず戰鬪の近代化によつて飛行機、戰車、其他の最新科學兵器を多數使用し、之に伴ふ物資の需要莫大の最に上り、國民生活に及ぼせる影響亦曾て見ざる深刻性を示して居る。更に、事變そのものは益々長期戰の傾向を帶び、當面即急の解決を至難とするばかりでなく、事變を繞りて國際關係の複雜微妙なる事態を惹起するやも測られぬ不安狀態に在る。斯様な非常時局下に於て、眞によく國家の進路を愆ることなく、事變終局の成果を完ふするためには、飽迄銃後一體、官民間に些も間然する所なき協同一致の實が發揮せられねばならぬ。



（本理想的常岡長は撫摩するあつのもたれか撫）

林間春光

（ほとまきの花の咲く林間の人間）

の裡に生き、其の終生を通じて易ることなく是等傷痍軍人の疾患痛苦をそのまゝ國民全體の疾患痛苦と感じ、之を共に慰り共に撫ひ、共に忍ぶ底の心境まで到達せねばならぬ。苟くも斯くの如き共感同情の念が根本に存しなかつたならば、傷痍軍人に對して假令如何なる物質的厚遇の途を講ずるとも、決して日本國民として眞個の責務を盡したりと云ふことはできない。今日の進歩せる社會意識の下に於ては流石に傷痍軍人を目して從來の所謂廢兵の觀念を以てする者は殆ど全く跡を絶つて居る。而も尚、衷面傷痍軍人に敬愛の誠を捧げると云ひ乍ら、内實密かに之を係累視類累視するが如き風潮は社會の一角に殘存して居るやうに思はれる。斯かる風潮が些かでも痕跡を殘す限り、傷痍軍人對策としての萬全を期することはできない。殊に戰時中の易審が漸く薄らぎ、國民感情の弛緩を見るやうな場合に至れば、尚更戒心を要するものがある。

過去の内外の經驗に徴し、傷痍軍人の對策として所期の成功を收め得たる事例は極めて乏しい。殷鑑遠からず世界大戰に在り、當時の參戰各國が何れも斯の問題解決のために腐心し、多大の知能と經費を搾つて凡ゆる努力を試みたにも不拘、結果は毫も滿足ならず、寧ろ之が却つて戰後の國民思想動搖の嗣因となり廣汎なる社會不安を惹起するに至つたのである。斯事は蓋寃するに、傷痍軍人と不二一體たるべき國民的共同意識感情が稀薄乏至脆弱なりしことが根本的原因である。傷痍軍人の疾患痛苦は、而も、國民全體が共に頒ち忍ぶべし。而も、傷痍疾患が齎らせる痛苦の裡にも傷痍軍人が安んじて生を樂み、精神的安住の地を求めて得るのは偏に、國民全體の間に傷痍軍人と不二一體なる感情が存すればこそである。傷痍軍人對策が單に制度施設上の問題に止まらず、重大なる思想對策たる所以も正に斯點に存する。惟ふに一朝有事の際、全國民を擧げて一體一心となり、相率ゐて君國のため義勇公の誠を效すのは、今更云ふまでもなく我が國體の精華にして、異邦外國の及び難き所である。斯の如き國民一致の奉公の至誠は、平戰兩時を通じて益々發揮發揚されなければならない。

今や、皇軍は、明朗なる大東洋建設の聖なる使命を擔ひて、大陸の野に赫々の武勳戰績を示しつゝある。庶くば、之が礎石を成せる傷痍軍人に對して、義勇奉公の國民精神に徹せる對策が確立され、精神的にも物質的にも萬遺憾なき施設の講ぜられんことを切望する次第である。

「社會全體觀と各主義觀」

法學博士　鹽澤昌貞

爾り云ふと如何にも時好に投する様だが、社會全體觀は私が二三十年も前から說き來たつた說である。「體イズムと云ふものは社會に於て特に一つの機能を強調して之を理論立てたものであり、單に其れのみを以て社會の全體を說明し指導せんとする事は無理でもあり、不可能でもある。イズム・イズム・イムポシブル」である。其の頃自分は斯う云ふ公式を作つて學生に敎へたものである。

社會全體觀×社會各主義＝社會主義
×社會各主義×社會全體＝協調

全體は多數の機能に依つて構成されるもので、決して單一の機能に依つて支配されるものではない。譬へば資產主義でも社會に對する一つの機能にすぎない。各家庭に於て火鉢や煙草のもの、主人のものでもなければ奥さんのものでもない、家中全體のものである事が却つて全體のためであるものがある。だから云つて資產主義でもつて全體を盡せぬかうでもあり、人類は進むにつれて變動の破壞であり、人類滅亡であつて恐ろしい結果となる。

而かも是等のイズムの結合は決して メカニックなものではなく、オルガニック・コンビネイシヨンでなければならないのである。當初右の公式は加算式であつたものを乘算式に改めたものであると云ふ事を合んで戴き度い。

ローロッパに於てはナチ勃興前夙より奥太利の經濟學者シュペンが之を唱へた。十五年前、私後の地に遊んでウォーンに於て彼に會ひ大いに感じ大いに共鳴した事がある。恐らくナチスは其の全體主義の理論的背景を彼の說に多々負つてゐる事と思ふ。

―協調會社會政策部長―

協調會ニュース

東京本部

社會政策研究會

二月二十四日本會々議室に於て開催、金井陸調査官美濃口時次郎氏より「戰時に於ける勞働力需給統制」に就き特に職業大職の英・獨を中心とした勞力配分問題を詳細に研究發表されたのであが、我國現下の情勢に即し神髓するところ頗る大であつた。出席者十四名。

第四十六回産業厚生研究會

二月二十一日正午より協調會館講堂にて開催、出席者約八十名、産業勞働者の結核問題に就て塚田厚生技師の講演あり、後採用時及定期の健康診斷及結核患者の取扱方法等に關し協議をなし午後四時散會した。

第二回全國工場講山體育指導者講習會

二月二十二日より四日間東京市芝區女子會館講堂に於て開催、地方官廳及全國工場鎮山等より講習員約二百名參集帝生協調會勞務理事の「挨拶」、體育指導者に希ひ「安積厚生省勞務課長、「國民の體育問題」に就て厚生省醫務課長、「工場體育の實際的要目」大西厚生技師、「體育指導に就て清水厚生省社會保險局長、「體力向上と國家管理問題」中川保險協會技師、「健康の原理と體育」岩原女部省體育課長、「背壯年に適當したる健康體操」鄭口東京高師教授等の講演あり又赤間協調會嘱託、河田東京工場協會勞務技師、加藤體操學校教授より夫々實地指導を行ひ、映畫座談會等もあつて盛會に終了した。

勞務管理研究會第二回例會

二月二十二日午後一時半東京市巢鴨町國民精神總動員會第二次運動と相俟つて非常時局善處對策は、先づ勞務搬任者自ら心身の鍛練をなし國策に副ふ勞働管理の緊急なることを痛感し、二月十二日より十四日に至る三日間、清瀧川邊の別天地京都東山々麓南禪寺に於て、修業界の最高峰日種讓山老師を始めとし、有名なる諸先方より指導、講習を受けた。

講習會日程

二月十二日

講師　日種讓山老師

二月十三日（午前五時起床）

時局の低調　仙波貫道師

登德仕法と獨逸勞働奉仕　坂本重關先生

新時代の勞働對策　坂本重關先生

二月十四日（月）

靜座　鍛修

各工場應召者遺家族慰安、激勵、慰撫現況報告　京都市第一工業製藥株式會社工場見學

工場綠化講習會

大阪府

大阪府産業安全協會と本會の共同主催で、二月十五、十六の兩日に亘り大阪府立賀茂産業會館に於て開催した。

第一日

坂本講師より、休業休息及遵奴安全を主とする綠化的環境整備について解說があり續いて質問懇談をとげた。

第二日

各工場の個々の事情に應じて工場見取圖により綠化計劃の指導をなした。出席工場名左の如くである。

倉敷紡績株式會社、大阪朝日新聞社、角一ゴム株式會社、大日本紡績株式會社、伊藤商店、帝國製麻株式會社、白洋舍、ラサ工業株式會社、大阪瓦斯株式會社、日本ペイント株式會社、住友金屬工業株式會社、大日本染料株式會社、住友電線株式會社、日本電球工所、東洋紡績株式會社、大日本ビール株式會社、大日本セルロイド株式會社、柏原紡績株式會社、武田商店

右の外武田商店本店工場を現場視察の上綠化計劃指導をなした。

京都府

京都府工場衛生會と本會の共同主催により二月十八、十九の二日間日本レース株式會社、井上織機株式會社、日本紡織株式會社に於て現地指導をなした。

兵庫縣

兵庫縣工業會と本會の共同主催により二月二十一、二十二の二日に亘り兵庫縣會議事堂に於て講習をなした。

出席工場左の通り。

川崎製鋼株式會社、三菱電機株式會社、鐘淵紡績株式會社、關西興業株式會社、同火力發電株式會社、長鈴商店、住友金屬工業株式會社、日本ガラス株式會社、村岸メリヤス株式會社、川崎造船所艦船工場、關西ペイント株式會社

協調友の會、西宮例會

二月十七日午後六時より大阪府綠化保險協會に於て「職業紹介國營問題」に就き大阪府職業課長那須時夫氏より講演を拜聽した。盛なる質問があつて盛況であつた。出席者三十名。

關西民謡體操研究會例會

二月十八日午後六時より大阪府華柔堂に於て開催した。「愛國行進曲」に就き振興の根本問題として工場主講習會を後援の下に共同主催で工場主講習會を催した。應況左の通りである。

二月十四日　一宮市大和村　水谷大佐

二月十五日　起町　瀛谷少將

二月十六日　奥町　加藤大佐

同　同

二月十七日　明治村

二月十九日　奈良工業會場　松井參謀長

倘講師からは、荒川工場鎮長が講師として見たられた。

福岡出張所

産業福利部委員總會

二月九日福岡市昭和生命會館に於て福岡地方産業福利部委員總會を開催した。出席者は委員三十八名、本會側より日本商工會議所、清原出張所長、長谷參事出張所、町田勞務理事より時局下に於ける各會の新本針に就き、長谷參事より福利施設に關し夫々說明があり引續いて昭和十二年産業報告十三年度事業計劃が清原所長より發表された。後色々懇談、懇談が爲されたが、時局對策の爲の地方機關として、當當特別委員會、地域別福利部委員の設置等が決定された。

編輯後記

○敬神と祭見とが二にして一でない事が大和ぶりである。滯生産常務理事の御說明愛子に聞ふる蕪文の裏情がある。○宗近氏の「産業道と共の實踐」御草說敬服に堪えない。社是の宣明、社風の振興が産業界新の第一着手である。○村山氏の論文、工業の高度化は結核患者を多くするものであると云ふ社會通念を啓蒙するものであり、今井氏の勞働者を起たしめんとするものである。大内氏の「物と人との相剋」産業道の確立は日本の世界的使命である。山口記述されてある。何れも熟讀味味すべき好文字と推奬する。○「時局對策委員會」新日本産業醫生の母胎としようと云ふのだから、各委員の御熱誠は到底他所では見られぬものがある。（小沼）